

取組事例③ 教育の取組による子育てのしやすさ満足度の向上

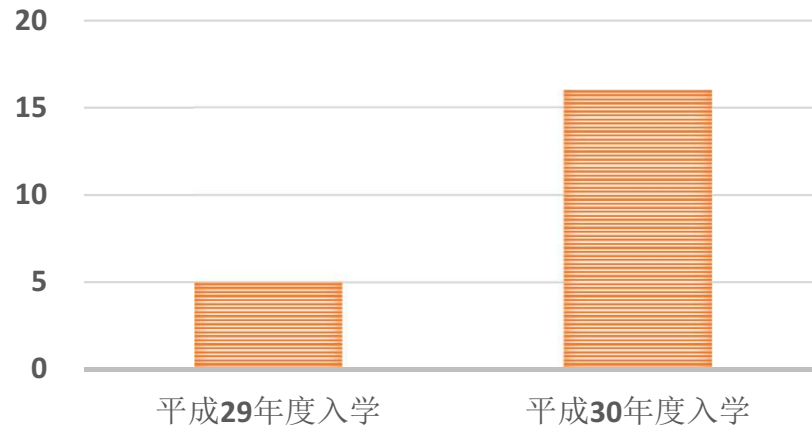
(奥尻町)

奥尻町では、離島という不利な環境の中で、都市部と同等の水準の教育が受けられる取り組みを行うことで人材育成と子育てのしやすい町を目指しています。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
子育てのしやすさ満足度(%)	48.0	48.0	60.0	80.0
将来奥尻町に帰って来て仕事をしたいと思う生徒の割合(%)	—	19.4	60.0	32.3

北海道奥尻高校への島外からの入学者数



平成30年度は、前年度の約3倍の(島外からの)入学者を受け入れた。

取組事例 北海道奥尻高等学校の取組

全国からの入学者の募集

- ・道立から町立へ移管された平成28年度より全国から入学者を募集している。
- ・島外からの入学者に対して、下宿代や昼食代の補助、帰省のための交通費の助成を行っている。



特徴的なカリキュラム等

- ・スクーバダイビング(選択制)の資格取得。
- ・「奥尻島の振興の担い手となろう」という目的のもと、奥尻パブリシティ本部の活動の実施。
- ・ICTを活用した京都大学等による授業の実施(Wifi-(兄)ネ-(姉))



ほか

中高一貫教育の実施

- ・平成29年度より、奥尻高校敷地内に統合奥尻中学校を新設。
- ・上級生からのサポートを軸としたメンタリングシステムを6年間系統立て、連携型の中高一貫教育に取り組んでいる。

